

KITAGIN NEWS RELEASE 2023

2023年3月16日

各位

株式会社 北日本銀行

きたぎん SDGs 経営サポートによる「SDGs 宣言」策定支援について ～株式会社 阿部蒲鉾店～

株式会社北日本銀行（頭取 石塚恭路）は、取引先企業さまの SDGs への取り組みを評価分析し、SDGs 経営を支援する「きたぎん SDGs 経営サポート」を取り扱っております。この度、本サービスのうち Basic（基本版）を通じて、株式会社阿部蒲鉾店様（代表取締役社長 阿部賀寿男）が SDGs 宣言を策定されましたので、下記の通りお知らせいたします。

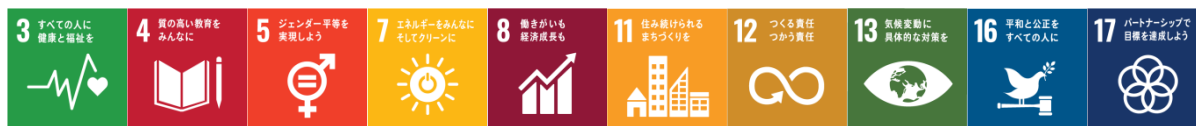
今後とも当行は、取引先企業さまの SDGs の取り組みを支援し、持続的な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 会社概要

会社名	株式会社 阿部蒲鉾店
所在地	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2丁目3-18
代表者	代表取締役社長 阿部 賀寿男
業種	食品製造業

2. 重点項目



3. きたぎん SDGs 経営サポートについて

取引先企業さまの SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）への取り組みを促進するため、取引先企業さまの SDGs の取り組み状況を確認し、優先課題を決定した上で、目標設定を行うこと（Basic：基本版）、また、サプライチェーン分析による事業活動の流れと SDGs 貢献度を分析し、未来志向の目標設定（Progress：発展版）をお手伝い致します。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

営業統括部 事業コンサルティング室（担当：加藤） TEL：019-626-6529

企業概要



仙台名産 笹かまぼこ
阿部蒲鉾店



当社について

当社は1935年の創業以来、80年以上蒲鉾の製造・販売を行って参りました。
「仙台名産・笹かまぼこ」は当社創業者が伊達家の家紋「竹に雀」にちなんで命名し、
しだいに「笹かまぼこ」として広く定着したものになります。
私どもにとって、「笹かまぼこ」は阿部蒲鉾店の暖簾そのものであり、伝統を磨き続けることにより
新しい味が生まれています。
阿部蒲鉾店はこれからも創業時に負けない熱い思いで伝統を守り続け、
健康食品としておいしい蒲鉾づくりに励み、お客様により良い商品をお届けして参ります。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	エネルギー使用量の削減、再生可能エネルギーの活用、フードロスの削減
従業員の働きがい	従業員の心の健康保持、ハラスメントや差別防止、コミュニケーションの促進
地域社会への貢献	文化・芸術・スポーツ活動、産学官連携、地域のSDGs意識の向上
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、情報セキュリティ対策、BCPの策定

株式会社 阿部蒲鉾店 SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2023年3月16日
株式会社 阿部蒲鉾店
代表取締役社長 阿部 賀寿男

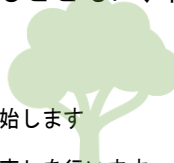
マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

環境に配慮し、使用エネルギーの効率化を図るとともに、商品や原材料の廃棄ロス低減を進めます。

▼目標・取り組み内容

- ・太陽光パネルの設置により再生可能エネルギーの利用を開始します
- ・エコ包装の推進をいたします
- ・フードロス削減を目指した製造・生産管理・販売方法の見直しを行います

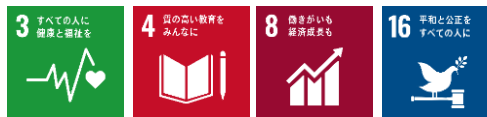


従業員の働きがい

ワークライフバランスとダイバーシティの実現によりディーセントワークを意識した経営を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・業務自動化（RPA）の推進により、従業員の業務負担を減らします
- ・ハラスメント未然防止のため、研修を定期的に行い、社内周知を行います
- ・部署間の垣根を超えた社員の協力体制（従業員多能化）の推進を行います

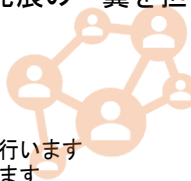


地域社会への貢献

地域に支えられている企業として、地域の発展の一翼を担う企業を目指します。

▼目標・取り組み内容

- ・地域行事への参加や協賛、スポーツ活動支援を行います
- ・インターンシップや社会科工場見学の受入れを積極的に行います
- ・地域金融機関と連携し、地域全体でのSDGs達成を目指します



コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を構築し、法令順守を徹底します。

▼目標・取り組み内容

- ・社員のコンプライアンス意識の向上を図り健全な企業経営を推進します
- ・情報セキュリティ対策強化による情報資産保護管理を徹底いたします
- ・BCPの策定を行い、緊急時のリスクを最小限に抑えます



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ 「SDGs経営推進プロジェクト」】